PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-213983

(43) Date of publication of application: 27.08.1990

(51)Int.CI.

G06F 15/62

G06F 15/70

H01L 21/60

(21)Application number: **01-035401**

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC

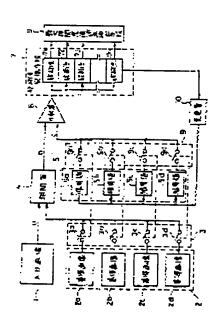
CORP

(22)Date of filing:

15.02.1989

(72)Inventor: YAMAMOTO KANEHISA

(54) RECOGNIZING METHOD OF WIRE BONDING DEVICE



(57) Abstract:

PURPOSE: To improve the recognition accuracy and recognition rate by setting a correlation value limit value according to a reference image and varying the correlation value limit value according to the number of candidate points. CONSTITUTION: A comparator 6 compares the degree (b) of correlation with the correlation value limit value (b) and when the degree (b) of correlation is larger than the correlation value limit value (c), the current degree (b) of correlation and coordinates in an input image (a) are registered in a candidate point storage means 7. This operation is executed for whole part of the input image (a), and all candidate points are registered in the candidate point storage means 7, sequentially. At this time, the correlation value limit value (c) is set to a proper value corresponding to a selected reference image and a proper number of candidate points are extracted.

If the state of an input image (a) changes and a proper number of candidate points are not obtained with the set correlation value limit value, a correlation value limit value variation quantity input means 10 varies the correlation value limit value. Consequently, the recognition accuracy and recognition rate of even an image which differs in correlation degree can be increased.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Your Ref: 07844-410JP1

Our Ref: PA971

Translation of Selected Portions of Pat. Laid-open Official Gazette

Appln. No: 1-35401

Appln. Date: February 15, 1989 Laid-open Pub. No: 2-213983

Laid-open Pub. Date: August 27, 1990

Inventor(s): Kanehisa Yamamoto

Applicant(s): Mitsubishi Electric K.K.

Attorney(s): Masuo Oiwa et al.

1. Title of the Invention

RECOGNITION METHOD OF A WIRE BONDING DEVICE

2. Claims

(omitted)

3. Detailed Description of the Invention (Selected Portions)

1)

(omitted)

19日本国特許庁(JP)

40 特許出願公開

母公開特許公報(A)

平2-213983

Solnt. Cl. 3 15/62 G 06 F

造別記号 405 C

460

庁内整理番号 8419-5B

❷公開 平成2年(1990)8月27日

9071-5B

15/70 21/60 H 01 L

6918-5F

未請求 請求項の数 1 (全3頁) 審査請求

69発明の名称

ワイヤポンデイング装置の認識方法

頁 平1-35401 ②特

平1(1989)2月15日 忽出

山本 伊発 明 者

福岡県福岡市西区今宿東1丁目1番1号 三菱電機株式会

社福岡製作所內

伊出 顧 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

弁理士 大岩 增雄 **MAC**

外2名

1. 発明の名称

ワイヤボンディング装置の認識方法

2. 特許請求の範囲

基準画像と入力画像の相関を用いて基準画像と 類似したパターンを探索し、物体の位置ずれ量を 認識してポンディング位置を補正するワイヤポン ディング装置の認識方法において、基準画像に応 じてこの基準面像と入力面像との相関値限界値を 設定し、相関度が相関値限界値以上となる座標を 抽出して、抽出される座標の数により相関値限界 値を変化させることを特徴とするワイヤボンディ ング装置の認識方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はワイヤポンディング装置の認識方法に 関するものである。

【従来の技術】

第2因は、相関により入力画像の中から基準画 像と無似したパターンの座標を輸出する経識方法

の従来例を説明するための認識システムを示すプ ロック系装図である。周図において、1はリード フレームまたはICチップ等の認識対象の認識点 .からカメラによって入力される入力画像を取り込 む入力画像取込手段、2は基準画像2a~2dで 示すように認識点毎に設定・配位される位置ずれ 量検出のための特徴あるパターンをもつ基準面像 記憶手段、3はスイッチ3a~3dにより認識点 に対応する基準面像を選択する基準面像選択手段、 4 は入力画像取込手段1 の入力画像 a と遊択され た基準面像との相関演算を行ない、結果として基 準面像との類似度 (以下「相関度」という) を出 力する相関器、5は入力画像 a の中の相関演算対 象画像が選択された基準画像と類似していること を相関度との比較により判定するための相関値限 界値入力手段、6は相関度が相関値限界値入力手 及5より出力される相関値限界値により大きいと きにその蓄像が類似していると判定し、その座標 (以下「候補点」という) を取り出すための比較 器、7は段補点と相関皮を記憶する候補点記憶手

股、8は候補点記憶手段7の候補点71~7ヵか⁽²⁾ ら相関度が最大である候補点を抽出する最大相関 度換出手段である。

次に動作について説明する。リードフレームま たはICチップ等の認識対象物により認識点が決 定すると、基準両像選択手段3のスイッチ3a~ 3 4によりそれに対応する基準調像2 a ~ 2 d の どれかが選択される。この選択された基準画像と 入力画像aの一部を相関器4に入力して相関演算 を行ない、相関度なを求める。相関度など相関限 昇値にとを比較器6で比較し、相関度6が相関値 限界値により大きければ、このときの相関度と入 力画像 a 中の座標を候補点記憶手段?へ登録する。 相関度bが相関値限界値cより小さければ登録は 行なわない。この動作を入力画像』の全部分に対 して行ない、全ての設確点を順次設確点記憶手段 7 へ登録していく。上記動作が終了したら、最大 相関度候補点抽出手段8により全候補点の中で相 関度が最大である候補点を抽出する。因示はして いないが、このときの袋捕点における座標と基地

(作用)

本発明によるワイヤボンディング装置の認識方法においては、認識点毎の画像の過度や画像の物体の物外の 4 の 4 部形状によって異なる相関度に対し、また入力画像の状態の変化によって変わる相関度に対し、通切な候補点を得る相関値限界値が設定される。

(実施例)

第1 図は本発明によるワイヤボンディング装置の認為方法の一実施例を説明するための認識システムを示すプロック系統図である。同図において第2 図と同一部分又は相当部分には同一符号が付してあり、5 a ~ 5 d は基準画像に対応する相関値限界値、9 は基準画像に対応する相関値限界値を選択するための相関値限界値を要更 まるための相関値限界値を更更 まるための相関値限界値を更更 まるための相関値限界値を更更 まるための相関値限界値を要更 まるための相関値限界値を要更 まるための相関値限界値を要更 まるための相関値限界値を要更 まるための相関値限界値を要要 まための相関値限界値をある。

リードフレームまたは J C チップ等の認識対象 物により認識点を決定すると、基準面像選択手段 3 のスイッチ 3 a ~ 3 d によりそれに対応する基 ⁽²⁾ 座標との差が認識対象物の位置ずれ量となる。

(発明が解決しようとする課題)

上記のような従来の認識方法では、認識点全てを一定の固定された相関値限界値により認識しているので、認識点毎の入力画像の状態(画素の違度や輪郭形状)が異なったり、入力画像の状態が光の具合等で変化した場合に相関度が異なり、候補点が多数抽出されたり、また候補点が抽出されなかったりして、認識特度・認識率が悪いという問題があった。

本発明はこのような点に鑑みてなされたもので あり、その目的とするところは、相関度が異なる 画像であっても認識精度および認識率の高いワイ ヤボンディング装置の認識方法を得ることにある。

(課題を解決するための手登)

このような課題を解決するために本発明は、基 地画像に応じてこの基準画像と入力画像との相関 値関界値を設定し、相関度が相関値限界値以上と なる座標を抽出して、抽出される座標の数により 相関値限界値を変化させるようにしたものである。

準画像2a~2dのどれかが選択されると同時に 相関値限界値選択手段9のスイッチ9a~9dに より上記選択された基準質像に対応する相関値限 界値5a~5dのどれかが選択される。従来技術 と同様に、上記選択された基準画像と入力画像 a の一郎を相関器3に入力して相関演算を行ない相 関度bを求める。相関度bと相関値展昇値cとを 比較磊 6 で比較し、相関度 b が相関値限界値 c よ り大きければ、このときの相関度 b と入力画像 a 中の座標を設補点記憶手段7へ登録する。この動 作を入力面像 a の全部分に対して行ない、全ての 候補点を順次候補点記憶手段7へ登録していく。 このとき相関値限界値には選択された基準画像に 応じて適切な値に設定されており、過度の数の候 補点が抽出される。 もし、入力資保 a の状態が変 化して、設定してあった相関値限界値では過度の 数の袋補点が得られなかった場合は、次のように 相関値限界値変更量入力手段10により相関値限 昇値を変更する。

袋補点が多数抽出されるのは相関値限界値が低

特閒平2-213983(3)

いためで、正の変更量を加えて相関値限界値を高くする。また、候補点が無いのは相関値限界値が 高いためで、負の変更量を加えて相関値限界値を 低くする。

この再設定された相関値展界値により再度上記 の動作を通度の数の候補点が得られるまで行なう。

上記動作が終了したら、最大相関度候補点抽出 手段 8 により全候補の中で相関度が最大である候 補点を抽出する。従来技術の説明におけると同様 に図示はしていないが、上記相関度が最大である 候補点における座標と基準座標との差が認識対象 物の位置すれ量となる。

なお、第1回に示した認識システムはハードウェアで構成した例であるが、このシステムの動作をソフトウェアで行なわせても同様の効果がある。 (発明の効果)

以上説明したように本発明によるワイヤボンディング装置の認識方法は、基準面像に応じて相関 値限界値を設定し、候補点数に応じて相関値限界 値を変更するようにしたことにより、相関度が異 なる画像であっても、また相関度が変化する画像であっても、その画像に適切な相関値限界値を登 定できるので、認識精度および認識率が高くなる という効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるワイヤボンディング装置の認識方法の一実施例を説明するための認識システムを示すブロック系統図、第2図は従来方法を説明するための認識システムを示すブロック系統図である。

代理人 大岩增煌

